

連携先世界遺産：真言宗御室派総本山仁和寺

仁和寺の魅力・価値がグローバル・ローカルに高まり、新たな「ご縁」を生み出せる企画を実施する可能性を探る

■受講生

杉田 大成 (立命館大学・スポーツ健康科学部・4回生) 張 天月 (立命館大学・政策科学部・3回生)
 永田 裕也 (立命館大学・政策科学部・3回生) 西野 真唯子 (京都女子大学・現代社会学部・2回生)
 久野 詩乃 (立命館大学・産業社会学部・3回生)

■担当教員

桜井 政成 (立命館大学 政策科学部 教授) 山田 大地 (立命館大学 政策科学部 非常勤講師)

活動目的・概要

本授業の目的は、地域活性化の一手法である「Asset-Based Community Development (アセット・ベースド・コミュニティ・ディベロップメント) (ABCD)」を活用し、仁和寺の魅力・価値がグローバル・ローカルに高まり、新たな「ご縁」を生み出せる企画を実施する可能性を探ることです。「ABCD」とは、地域に存在する資源をもとに地域を活性化し発展させることで、ここでの「資源」とは、その地域に存在する文化財や自然・景観などはもちろんのこと、その地域に存在する学校や病院や企業、また多様な地域住民や住民間のつながりなど、あらゆるもの地域活性・発展のためのものを「資源」ととらえます。授業を通じて、学生は世界遺産の地域的価値を理解し、コミュニティ・ディベロップメントの基本的な方法を理解していきます。

授業では、学生が1,100年以上の歴史を持つ仁和寺の「強み」を理解し、また、周辺に存在する学校や 宿泊施設、店舗、交通機関等の地域資源を理解することで、新たな企画の提案を考えていきます。さらには、そのアイデアに基づいた試験的な取り組みを実現することも目指していきます。



◆主な活動

2019. 5. 12	全体オリエンテーション	2019. 11. 11	撮影打ち合わせ
2019. 7. 28	仁和寺フィールドワーク	2019. 11. 15-16	動画撮影①
2019. 9. 6-8	仁和寺合宿	2019. 11. 26	動画撮影②
2019. 9. 20	企画進捗報告@仁和寺	2019. 11. 28	動画撮影③
2019. 10. 1	企画会議@キャンパスプラザ京都	2019. 12. 3	動画撮影④
2019. 10. 8	企画会議@キャンパスプラザ京都	2019. 12. 8	動画撮影⑤
2019. 10. 15	企画進捗報告@仁和寺	2019. 12. 15	成果報告会
2019. 10. 24	企画会議@キャンパスプラザ京都	2019. 12. 21	動画撮影⑥
2019. 10. 28	企画会議@立命館大学	2020. 1 頃	動画公開 (予定)
2019. 11. 1	企画書提出@仁和寺		

活動の成果

「仁和寺の魅力伝える動画制作・発信」

今年度も、「Asset-Based Community Development」(ABCD)アプローチによる仁和寺および周辺地域の価値向上を学生自身の企画立案と実施によって行うプログラムとなりました。フィールドワークと合宿において聞き取られた様々な方が感じている仁和寺の「アセット=よさ・価値」を、「誰に」「どのように」「自身や地域の他のアセットを活かしながら」伝え、「どのような効果を生み出したい」のかを検討してきました。

これまではイベントを実施することで参拝者や地域住民の皆様に見出された価値を伝える工夫をした企画を実施しようとしてきましたが、今年度は、「動画制作」とその発信(youtubeを想定)という手段で、世界に向けて仁和寺の価値を発信し、それ自体が今後ものこり「アセット」となるものを生み出そうと学生たちは議論しました。仁和寺関係者の皆様の寛大なご理解と多大なご協力のもと、仁和寺の良さがさまざまな対象別に伝えられようとする動画が制作できたのではないかと思います。

●タイトル:「仁和寺を楽しむ方法:お寺で宿泊しよう」(担当:張 天月)

動画主旨:世界の観光客に向けて、お寺で宿泊する体験動画を配信することを通じ、参拝時のマナーや仁和寺の歴史的背景を伝える

伝えたい仁和寺のアセット:世界遺産、御室会館、日本の和・マナー、雰囲気、歴史・宗教的背景、ホテルの建設

伝えたい対象:外国観光客(特に中国人)、若者

解説:仁和寺門前に建設予定であるホテルに宿泊する海外からの参拝者を念頭に、中国語と英語で仁和寺の歴史や宿坊である御室会館の宿泊体験のようす、おすすめのスポットや食事、お勤めの意味や参拝時のマナーを伝え、仁和寺と周辺住民、参拝者が仁和寺の良さを共有できることを目指す。

●タイトル:「門跡による仁和寺紹介」(担当:杉田大成)

動画主旨:瀬川大秀第51世門跡より、仁和寺の歴史や宗旨・参拝者に向けてのメッセージをお聞きする

伝えたい仁和寺のアセット:仁和寺、僧侶の方々、仁和寺の歴史や伝統

伝えたい対象:観光客、参拝者、仁和寺の近くに住む人々

解説:瀬川門跡に仁和寺の歴史や伝統、参拝者や未来への想いを伺い発信することで、仁和寺への親近感を高め理解を深めてもらう。また門跡自身の修行の思い出や人となりも伺い、宗旨に対する親しみを持ってもらう。

●タイトル:「世界遺産仁和寺×学生ダンスサークル」(担当:久野詩乃・西野真唯子)

動画趣旨:若者に人気のダンスを仁和寺の各所で踊る動画を制作することで、若者と仁和寺の接点を作り、各名所の魅力を伝える。2つのダンスサークルによる趣の異なるダンス動画を2本撮影する。

伝えたい仁和寺のアセット:非日常空間・広さ・景色や風景・歴史ある建物・日本らしい趣 ダンス(学生)

伝えたい対象:大学生を中心とした若者

解説:ダンスを得意とする学生のアセットを活かし、受講生の所属するダンスサークルが、仁和寺の各名所の前で背景に合わせたパフォーマンスをすることにより、踊る学生自身やその動画を見た若者に仁和寺との接点を生む。

●タイトル:「学生と仁和寺のお坊さんが「徒然草」を品詞分解してみた」(担当:永田裕也)

動画主旨:受験生向けに古典の解説をその舞台である現地で行うことで、京都や仁和寺の歴史の深さと長さを伝える

伝えたい仁和寺のアセット:お坊さん、歴史、文化、菅原道真、兼好法師

伝えたい対象:受験生

解説:受験科目として触れる古文に登場する仁和寺で実際にその古文の文法解説動画を撮影し、現代とのつながりを感じてもらう。また、仁和寺内にある菅原道真ゆかりの場所を活かし、受験生への応援を行う。

●タイトル:「【世界遺産】仁和寺ゆかりの歌でかるたゲームしてみた」(担当:西野真唯子)

動画趣旨:仁和寺ゆかりの和歌のかるたにすることを通じ仁和寺の歴史を伝える

伝えたい仁和寺のアセット:仁和寺の歴史の長さ・文豪に愛されていること

伝えたい対象:若い人(ゲームを通じて歴史を知って欲しいから)

解説:宇多天皇や与謝野晶子など、仁和寺を歌ってきた多くの歌をかるたを通して知ってもらう。

活動を振り返って

※本成果報告集の作成時は動画制作の途中であったため、中間時点での活動振り返りコメントです。

- たくさんの方の協力があってこそ、この企画が進み、このような機会をいただくことができた実感しています。大学生のフレッシュさと、仁和寺の歴史ある趣を、うまく伝えることができればと思っています。どのような動画が完成するか楽しみです。(久野詩乃)
- 今回の授業を通じて日本の文化や歴史を深く理解でき、コミュニティとの接点を見つけ、自分の持っている資源を活かし、より多くの人に仁和寺の魅力を伝えることができました(張天月)
- 日常生活では難しい世界遺産を舞台に活動することができ、非常に貴重な経験になりました。(永田 裕也)
- この講義を通じて仁和寺の歴史の深さや魅力に気づけてよかったです。(杉田 大成)



- 企画を実行する大変さを学び、仁和寺を始め多くの方に協力してもらうことで、学生だけでは絶対にできなかった経験をさせてもらっています。仁和寺のアセットを、それぞれ学生が伝えるとどのようになるのか実際に形になるのかを想像するとすごく楽しみです。(西野 真唯子)

担当教員からのコメント

桜井 政成

今年度の企画は例年と異なり、動画撮影を行いました。お忙しい中ご準備やご調整にと、直接にご担当頂きました牟田様、村田様をはじめとして、撮影にご協力頂いた仁和寺の多くの関係者の方々、誠にありがとうございました。受講生は人数は例年よりも少なめでしたが、それぞれが企画し、動画撮影を行うなど、例年以上にアクティブな取り組みが行われたと感じています。今回の成果は学生たちにとって、仁和寺の宗教的な価値と伝統文化に触れることができた、貴重な機会となったと感じています。歴史ある仏教の教えと、現在における観光的な京都の変化が切り結ぶところでの、学生自身のパフォーマンスを共に考え、形にさせていただいたことに大変感謝申し上げます。

山田 大地

仁和寺の皆様には、昨年被災した各所の修復や観音堂の公開、仁和寺音舞台の開催などでお忙しい中、本年度も世界遺産PBLの企画実施に全面的なご協力をいただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。今年度は、動画として形に残ることで授業終了後も「アセット」として仁和寺の魅力を伝え貢献し続けることができることを目指して、企画を実施しました。門前にホテル建設が予定されるなど変化も予測される中で、こうした動画が参拝者と仁和寺の間のよい「ご縁」づくりのための触媒となることができれば幸いです。

活動資料



フィールドワーク・合宿、門前まちづくり協議会様からのレクチャーによって仁和寺の歴史や周辺地域への理解を深め、それぞれの方が感じている仁和寺や地域のよさをどのような手法で誰に伝えるか検討しました。



動画による仁和寺の魅力発信を行うと決定してから、仁和寺関係者の皆様の全面的なご協力の下、御室会館や各所での撮影を行いました。瀬川大秀第51世門跡にもご出演いただき、仁和寺の歴史や宗旨をお話いただきました。

